

平成28年度

大阪府後期高齢者医療広域連合  
一般会計・後期高齢者医療特別会計  
決算審査意見書

大阪府後期高齢者医療広域連合監査委員



大 広 監 第 3 1 号  
平成 2 9 年 1 0 月 4 日

大阪府後期高齢者医療広域連合長  
野田 義和 様

大阪府後期高齢者医療広域連合  
監査委員 勝山 武彦  
監査委員 市位 謙太

平成 2 8 年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・  
後期高齢者医療特別会計決算審査意見について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 8 年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計決算書及び証書類その他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。



第 1	審査の対象	.....	1
第 2	審査の期間	.....	1
第 3	審査の方法	.....	1
第 4	審査の結果	.....	1
第 5	審査の概要	.....	2
第 6	実質収支に関する調書	.....	8
第 7	財産に関する調書	.....	8
第 8	意見	.....	10

(注) 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した。



## 第1 審査の対象

平成28年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計  
歳入歳出決算

## 第2 審査の期間

平成29年8月1日から同年9月30日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、会計管理者から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別  
明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等に基づき、決算計数の確認を行  
うとともに、予算が適正に執行されているかについて、例月現金出納検査の結果等を参  
考に、必要に応じて担当職員の説明を聴取するなどして審査を実施した。

## 第4 審査の結果

平成28年度一般会計・後期高齢者医療特別会計の決算について審査した結果、決算  
計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合して正確であり、予算は適正に執行されていると  
認めた。

## 第5 審査の概要

### 1. 一般会計

	①	②	増減	
	平成28年度	平成27年度	①-②	(比率)
	千円	千円	千円	%
予算現額 (A)	208,008	181,613	26,395	14.5
歳入決算額 (B)	208,251	189,624	18,627	9.8
執行率 (B/A)	100.1%	104.4%	△4.3P	—
歳出決算額 (C)	186,781	167,756	19,025	11.3
執行率 (C/A)	89.8%	92.4%	△2.6P	—
差引額 (D=B-C)	21,470	21,868	△398	△1.8
繰越財源 (E)	0	0	0	0
実質収支 (D-E)	21,470	21,868	△398	△1.8

- ・ 決算額の予算現額に対する比率は、歳入 100.1%、歳出 89.8%。
- ・ 歳入決算額は 2 億 825 万 1 千円で前年度比 9.8%の増。
- ・ 歳出決算額は 1 億 8,678 万 1 千円で前年度比 11.3%の増。
- ・ 歳入額から歳出額を差し引いた差引額は 2,147 万円の財源剰余。
- ・ 実質収支は 2,147 万円で単年度収支は 39 万 8 千円 (1.8%) の減となっている。



(1) 歳入

	①	構成比	②	増減	
	平成28年度		平成27年度	①－②	(比率)
市町村負担金 (繰越金を含む)	千円 205,900	% 98.9	千円 174,208	千円 31,692	% 18.2
その他収入	2,351	1.1	15,416	△13,065	△84.7
(計)	208,251		189,624	18,627	9.8

・歳入額の構成は、市町村負担金（前年度市町村負担金の繰越金を含む。）が98.9%で、その他収入（国庫補助金、諸収入）が1.1%となっている。

・前年度と比較して、市町村負担金（繰越金を含む。）が3,169万2千円（18.2%）の増、その他収入が基金繰入金の減等により1,306万5千円の減（△84.7%）で、歳入決算額は1,862万7千円（9.8%）の増となっている。

(2) 歳出

○歳出の状況

	①	②	増減	
	平成28年度	平成27年度	①-②	(比率)
議会費	千円 1,214	千円 1,195	千円 19	% 1.6
総務費	185,567	166,423	19,144	11.5
諸支出金	0	138	△138	△100
(計)	186,781	167,756	19,025	11.3

・前年度と比較して、総務費が1,914万4千円の増等により、歳出決算額は1,902万5千円(11.3%)の増となっている。

○不用額

	予算現額	支出済額	① 不用額	比率	② 前年度 不用額	増減 ①-②
議会費	千円 1,437	千円 1,214	千円 223	% 15.5	千円 242	△19
総務費	201,571	185,567	16,004	7.9	6,757	9,247
諸支出金	0	0	0	0	4,862	△4,862
予備費	5,000	0	5,000	100	1,996	3,004
(計)	208,008	186,781	21,227	10.2	13,857	7,370

・不用額は前年度1,385万7千円と比較して、737万円の増となっている。

## 2. 後期高齢者医療特別会計

	①	②	増減	
	平成28年度	平成27年度	①-②	(比率)
予算現額 (A)	百万円 1,059,140	百万円 1,068,314	百万円 △9,174	% △0.9
歳入決算額 (B)	1,080,473	1,044,314	36,159	3.5
執行率 (B/A)	102.0%	97.8%	4.2P	—
歳出決算額 (C)	1,052,361	1,022,068	30,293	3.0
執行率 (C/A)	99.4%	95.7%	3.7P	—
差引額 (D=B-C)	28,112	22,246	5,866	26.4
繰越財源 (E)	0	0	0	0
実質収支 (D-E)	28,112	22,246	5,866	26.4

- ・ 決算額の予算現額に対する比率は、歳入 102.0%、歳出 99.4%。
- ・ 歳入決算額は 1 兆 804 億 7,300 万円で前年度比 3.5%の増。
- ・ 歳出決算額は 1 兆 523 億 6,100 万円で前年度比 3.0%の増。
- ・ 歳入額から歳出額を差し引いた差引額は 281 億 1,200 万円の財源剰余。
- ・ 実質収支は 281 億 1,200 万円で単年度収支は 58 億 6,600 万円 (26.4%) の増となっている。

(1) 歳入

○歳入の状況

	①	構成比	②	増減	
	平成28年度		平成27年度	①-②	(比率)
市町村・国・府	百万円	%	百万円	百万円	%
支出金	616,014	57.0	595,575	20,439	3.4
支払基金交付金	426,112	39.4	414,807	11,305	2.7
その他収入	38,347	3.6	33,932	4,415	13.0
(計)	1,080,473		1,044,314	36,159	3.5

・歳入額の構成は、支出金（国・府・市町村）が57.0%、現役世代の支援金に係る交付金が39.4%で全体の96.4%、その他収入（繰入金、繰越金、諸収入等）が3.6%となっている。

・前年度と比較して、支出金（国・府・市町村）が204億3,900万円の増、現役世代の支援金に係る交付金が113億500万円の増、その他収入（繰入金、繰越金、諸収入等）が、44億1,500万円の増となっている。

○収入未済

	調定額	収入済額	収納率	収入未済額
返納金	千円	千円	%	千円
	1,974,250	514,991	26.1	1,459,259
加算金	8,489	3,486	41.1	5,003
(計)	1,982,739	518,477	26.1	1,464,262

・返納金（医療給付の返還金等） 14億5,925万9千円

・加算金 500万3千円

(2) 歳出

○歳出の状況

	①	②	増減	
	平成28年度	平成27年度	①－②	(比率)
	百万円	百万円	百万円	%
総務費	2,027	1,947	80	4.1
保険給付費	1,017,961	986,589	31,372	3.2
保健事業費	2,099	1,880	219	11.6
基金積立金	9,639	3,685	5,954	161.6
諸支出金等	20,635	27,968	△7,333	△26.2
(計)	1,052,361	1,022,069	30,292	3.0

- ・前年度と比較して、保険給付費が313億7,200万円の増、基金積立金(給付費の財源)が59億5,400万円の増、諸支出金等(支出金の返還金等)が73億3,300万円の減等により、歳出決算額は302億9,200万円(3.0%)の増となっている。

○不用額

	予算現額	支出済額	① 不用額	比率	② 前年度 不用額	増減 ①－②
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	百万円
総務費	2,103	2,027	76	3.6	183	△107
保険給付費	1,024,461	1,017,961	6,500	0.6	39,663	△33,163
保健事業費	2,160	2,099	61	2.8	109	△48
基金積立金	9,640	9,640	0	0	6,245	△6,245
その他	20,776	20,634	142	0.7	46	96
(計)	1,059,140	1,052,361	6,779	0.6	46,246	△39,467

- ・不用額は前年度462億4,600万円と比較して、394億6,700万円の減となっている。
- ・その他は、諸支出金、予備費等。

## 第6 実質収支に関する調書

決算書及び関係帳簿と照合したところ、計数は正確であると認められた。

## 第7 財産に関する調書

### ① 物 品

備品台帳等と照合したところ、計数が正確であることが認められた。

・下記の物品の内、紙折機、シュレッダー及び印刷機は、耐用年数の経過に伴い各機器を廃棄し、新たにリース契約により各機器を導入した。

・パーソナルコンピュータについては、番号制度に対応するため、1台を購入した。

・サーバラックについては、市町村の出張所の閉鎖に伴い1台を処分した。

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高		決算年度末 現在高
		(増) 台	(減) 台	
紙折機	1 台	0 台	1 台	0 台
シュレッダー	1	0	1	0
印刷機	1	0	1	0
液晶テレビ	1	0	0	1
パーソナルコンピュータ	50	1	0	51
電話交換機	1	0	0	1
金庫	1	0	0	1
財務・給与システムソフトウェア	5	0	0	5
財務・給与システムサーバー式	1	0	0	1
電算処理システム用APサーバー式	1	0	0	1
サーバラック	34	0	1	33
モノクロレーザープリンター	1	0	0	1
ビデオカメラ	2	0	0	2
プロジェクター	1	0	0	1
ハードディスク	2	0	0	2
インテリジェントスイッチ	1	0	0	1

(取得価格1品10万円以上)

## ②基金

医療給付費準備基金については、財政の健全な運営を図り、医療給付等に要する費用の財源に充てることを目的に設置している。

決算年度中の増減は△4,523,585千円で、これは、保険給付費に係る基金への積み立て、保険給付費、健康診査費に係る繰入のための基金の取り崩し等によるものである。

なお、低所得者等の保険料軽減のための財源及びその広報啓発に要する費用等、制度の円滑な施行のための経費に充てることを目的に設置していた後期高齢者医療制度臨時特例基金については、平成28年3月末をもって解散となっている。

(後期高齢者医療給付費準備基金)

(単位：千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
現 金	19,069,176	△4,523,585	14,545,591

## 第8 意見

大阪府内の後期高齢者医療制度の被保険者数は、平成29年4月現在、約106万人で、平成20年の制度施行時と比較して、約34万人増加し、1.5倍近い伸びとなっている。今後も高齢化の進展に伴い、被保険者数は増加すると見込まれることから、引き続き、事務処理の効率的な執行に努めるとともに、国、府及び市町村と連携し、制度の安定した運営に取り組まれない。

後期高齢者医療制度の給付費の財源は、公費、現役世代の支援金及び被保険者の保険料となっている。保険料は府内各市町村が徴収し、広域連合に納入しているが、平成28年度保険料収納率は99.20%で、前年度と比較して0.11ポイントの伸びとなっている。広域連合においては、市町村の保険料収納対策の支援等により、更なる保険料収入の確保に努められたい。

また、医療給付の返還金等について、医療機関に対する国の調査等により高額な返納額が発生したことから、約14億円の収入未済額が生じているが、今後とも保険給付の適正化に努めるとともに、未収金の縮減に努められたい。



